

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 23年2月

応募者名:石川県土木部都市計画課

事業の名称:

都市計画道路河井町横地線街路事業

実施都市名:石川県 輪島市 河井町

事業目的

輪島市街地では、観光客の減少、人口の流出、基幹産業の低迷等から、市街地の機能が低下し、街のにぎわいが薄れつつあり、街なかの活性化が急務となっていた。

このことから、市の玄関口となる「道の駅輪島 ふらっと訪夢(旧輪島駅)」から朝市通りまでの中心市街地を通る「都市計画道路 河井町横地線」を整備することにより、観光客などの歩行者の回遊性を高め、街なかの賑わい創出や輪島市への誘客拡大につなげることを目的として本事業に着手した。

事業概要

事業名称:都市計画道路河井町横地線 街路事業

路線名:都市計画道路 河井町横地線

事業箇所:石川県 輪島市 河井町 地内

事業延長:L=530m

幅員:W=14m~17m

事業費:6,817百万円

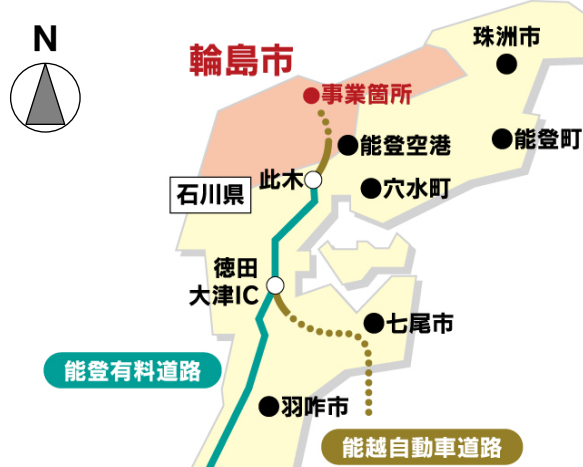
事業実施期間:平成8年~平成21年

市街地の空洞化に歯止めをかけ、本来の賑わい再生と市街地の活性化を図る目的で創設された石川県独自の「輪島・都市ルネッサンス石川都心軸整備事業」として整備を実施した。

本事業では、道路拡幅とともに、電線類の地中化や、地元が主体となって策定した「まちづくり協定」に基づいた沿道建築物の建て替え等を行い、輪島らしさを醸し出す景観形成に工夫している。

事業位置図

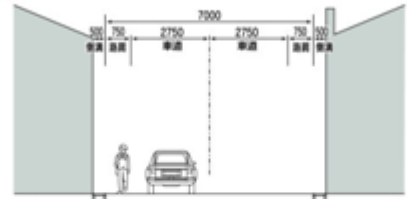
位置図



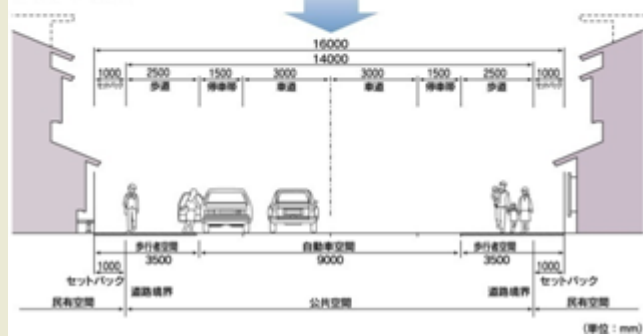
全体図(平面図・横断図)



整備前の状況



現在の状況



河井町横地線の整備効果アピール資料

Before



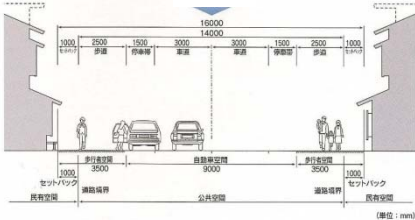
●街なみ景観の向上

- 整備方針
- みちづくりと連携した
- 街なみ形成
- 観光交流拠点を結び
- 回遊性を高める
- みちづくり

After



●歩行空間の確保



After

沿道住民が策定した「まちづくり協定」に基づき、外壁に地元材を使用した統一感のある街なみが形成。

無電柱化にぐわえ
沿道の建物が1m
セットバックし、
ゆとりある
歩行空間を確保



あわびの貝殻
利用した
歩道・街路灯



生まれ変わった輪風の街並み

輪風・・・輪島らしいまちづくりをめざす合言葉



馬場崎の市



四季を感じる飾り付け

(風鈴)

「整備効果」

事業開始当時の馬場崎商店街は活動停止状態であったが、本事業を契機に商店街の活性化を図りたい、との思いから、月に一度、11日にまちづくり会議を開催しようということで名付けられた「いちいち会」が発足。

いちいち会では、「四季を感じる飾り付け」として、ゴールデンウィークのてるてる坊主、8月の風鈴、年末のクリスマスイルミネーションなどが行われるようになった。

その他、馬場崎の市やコンサートも開催されており、商店街活動が活発化している。

事業前写真

平成8年撮影



平成8年撮影

平成8年撮影



事業後写真

平成22年5月撮影



平成22年5月撮影



平成21年12月撮影

